

The 39th Biennial World Congress of The International College of Surgeons
in Bali, Indonesia 2014 参加レポート

2014年10月20日～24日までの会期にてインドネシア・バリ島・Nusa DuaにおいてProf. Paul Tahaleleを大会長に開催された、2年毎のInternational College of Surgeons (ICS)-第39回世界大会総会・学術集会に、当科主任関根浄治教授ほか2名の医局員と共に参加してまいりましたのでご報告いたします。

世界の大変多くの国々や地域から、合計2000名を超える外科医の総合的学術集会ICS世界大会として大々的に開催され、非常に華やかなものでした。学術大会期間中には多くの教育講演や招待講演に加え、8つのメインシンポジウムと、実に33にもわたるサテライトシンポジウムが生まれ、これに加え多くの口演発表やポスター発表、ワークショップが企画されており、ICSならではの多学際的で実に学術的に有意義な“すべてのメスをもつ”外科医の祭典でありました。ICS日本部会からも、高崎健前日本部会会長先生や役員の先生方をはじめ100名近くの先生方の参加があり、いずれも各セッションで多くの聴衆参加者の中で素晴らしい御講演と発表をされていました。小生も、口腔外科・形成外科サテライトシンポジウムのシンポジストに選出頂き、われわれの“外科”である口腔顎顔面外科に関して“最新の先進デジタルテクノロジーを駆使した低侵襲手術治療”について講演をさせて頂きました。今回の学会で学び得たことは、何れも明日からの“患者様治療・手術”に大きくFeedback出来るものと

思います。

いよいよ2年後の2016年には、国際外科学会 ICS 日本支部会が山岸久一監事（京都府地域医療支援センター）先生を総会会長とし、10月23日～26日の会期にて京都で第40回の記念すべき ICS 世界大会総会を主幹します。今回の会場メインホール前では ICS 日本部会事務局が、この京都での開催を前にジャパンブースを設置され、山岸総会長先生および艶やかな着物を羽織られた事務局の方々が“ICS 世界大会総会 in Kyoto”を大きくプロモーションされ、行き交う参加者の大きな注目を浴びていました。

今回のバリでの ICS 世界大会総会同様に、盛況で素晴らしい世界総会になるように、われわれ会員の英知を集結させ日本開催の外科医の祭典と古都京都を以って世界にアピールできたらと強く Inspire されました。今後とも ICS 日本部会の先生方には御指導御鞭撻を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

島根大学医学部口腔外科学講座 講師 管野貴浩